

原料・製品ともに重量の重い鉄鋼業は、炭田や鉄鉱石産地に立地しやすいといわれてきた。アメリカ合衆国のピッツバーグは、1の石炭と2の鉄鉱石を五大湖の水運で結びつけた典型的な石炭産地に立地する製鉄業都市である。ドイツの3炭田上のエッセンやドルトムントも同様な都市である。他方、<sup>(イ)</sup>鉄鉱石産地に立地する製鉄業都市としては、Cのローヌ地方のメスがある。しかし<sup>(ウ)</sup>近年は鉄鋼業の立地も当初とは変わり、消費地に近く設備の整った港湾のある4指向型になった。アメリカ合衆国のフィラデルフィア、イタリアの5、そして日本では千葉県の千葉、君津などは原料輸入と製品手般出に便利なこの型である。

粗鋼生産量の推移 (単位：千 t)

国名	1970年	1980年	1990年	2000年	2007年
アメリカ合衆国	119,310	101,456	89,726	101,803	98,181
A	93,322	111,395	110,339	106,444	120,196
ドイツ	45,041	43,838	38,434	46,376	48,550
B	28,314	11,277	17,841	15,155	14,317
C	23,774	23,176	19,016	20,954	19,252
D	17,800	37,121	66,349	127,236	489,241
イタリア	17,277	26,501	25,467	26,759	31,990
カナダ	11,200	15,901	12,281	16,595	15,718
E	6,275	9,514	12,963	26,924	53,080
ブラジル	5,390	15,337	20,567	27,865	33,784
F	504	8,558	23,125	43,107	51,367
台湾	350	3,417	9,748	16,896	20,450

(世界国勢図会 2008/09 より作成)

問1 表のA~Fに適する国名を下記より選んで番号で答えよ。

なお、表におけるアルファベットと文章中のアルファベットは対応している。

- ① イギリス ② インド ③ 韓国 ④ 中国 ⑤ 日本 ⑥ フランス

問2 空欄1~5に適する地名あるいは語句を答えよ。

問3 (下線部(あ)について)1970年代に工業化を進めたこれらの国・地域を何と呼ぶか答えよ。

問4 (下線部(い)について)

(1) 中国のリャオニン(遼寧)省東部にある鉄鉱石産地に立地する製鉄業都市名を答えよ。

(2) ターイエ(大冶)鉄山に近く、同じく中国の三大鉄鋼コンビナートの1つとなっている都市名を答えよ。

問5 (下線部(う)について)鉄鋼業の立地がこのように原料立地型から転換した背景の要因3つを述べよ。

### 【13】2011 西南学院大学 2/9, F日程 経済 国際文化 商 神 人間科 文法

次の文は、エネルギーに関するものである。これについて、下の問(1~4)に答えよ。

アエネルギーは、自然から採取されたままの物質を源として利用するものである。その大半は、地質時代の動植物遺体が堆積し、地圧や地熱で生じたエネルギー源である{ A }が占める。人類は長い間、川の流れや風などの{ B }エネルギーに依存してきたが、これは大量利用には適していなかった。イギリスに始まる、道具から機械への技術革新であるイ革命により、動力源として{ C }が大量に利用されるように

なった。これは炭田で採掘される。中国の( あ )炭田などが有名である。

現在の最大のエネルギー資源は{ D }であるとされる。その中でも、発電用には、{ E }が大量に消費されてきた。{ D }の産出と流通は、かつては、ウとよばれる企業に集中していた。1973年に起こった第四次中東戦争を契機とした第一次エ以降、代替エネルギーとして各国でその利用が高まったのがオ発電である。これには、安定して電力が供給できることや、二酸化炭素の排出がほとんどないという利点がある。しかし、1979年にはアメリカの( い )州にあるスリーマイル島や、1986年当時のソ連、現在の( う )のチェルノブイリでの事故があったため、人々の間に不安が広がった。加えて、使用済み燃料や廃棄物の処理・処分方法の問題があるとされる。

このため、近年では風力発電、地中の熱エネルギーを利用した地熱発電、太陽光発電などの研究・開発が進められている。風力発電では、発電設備容量の最も大きい国は< a >であったが、2008年から< b >に変わり、さらにその発電設備容量をのばしている。また、太陽光発電で発電設備容量の最も大きい国は< a >である。

(データは『世界国勢図会 2010/11』による)

問1 文中の (ア～オ)に最も適切な語を記入せよ。

問2 文中の{ } (A～E)に最も適切な語を、次の(11～22)から1つ選んで、その番号を記入せよ。

- 11 化石燃料 12 金属資源 13 枯渇性 14 非枯渇性 15 木炭 16 石炭 17 石油  
18 ガソリン 19 灯油 20 軽油 21 重油 22 メタン

問3 文中の( ) (あ～う)に最も適切な地名を、次の(1～9)から1つ選んで、その番号を記入せよ。

- 1 ターチン(大慶) 2 アンシャン(鞍山) 3 タートン(大同) 4 ペンシルヴェニア  
5 イリノイ 6 ミズーリ 7 ベラルーシ 8 ウクライナ  
9 ロシア

問4 文中の< > (a・b)に最も適切な地名を、それぞれの語群(1～4)から1つ選んで記入せよ。

- < a > 1 アメリカ 2 ドイツ 3 中国 4 日本  
< b > 1 アメリカ 2 ドイツ 3 中国 4 日本

## 【14】2010 摂南大学 2/4, A C日程(前期センタープラス方式)・A日程(前期)

世界における電力生産は、A石炭や石油を燃料とする火力発電、水を利用した水力発電、核分裂のエネルギーを使った原子力発電が中心である。現在、この3つの中で、火力発電が世界全体の発電量において最も高い割合を占めている。

しかし、B1970年代に燃料となる原油の価格が高騰し、安定した供給も困難になったことから、石油の確保を輸入に依存していた国の中には、原子力発電をより積極的に推進する国もあらわれた。そうした国の1つである日本では、1950年代に (a) で国内初の原子炉の稼働が始まり、その後数多くの原子力発電所が設置された。最近では、核燃料サイクルの一環として、使用済み核燃料のプルトニウムを (b) と混合して再利用する (c) 計画が、政府と電力会社によって進められている。

原子力発電については、 (d) の原因とされる窒素酸化物や硫黄酸化物、地球温暖化を促進させると考えられている (e) の排出がないとして、これを推進すべきという意見もあるが、一方で、安全性に対する不安から推進に反対する人びともいる。安全性については、c実際に起きた原子力発電所の事故で放射能汚染の深刻さが明らかとなり、人びとの不安をますます高めることとなった。さらに、放射性廃棄物の安全な処理法がいまだに確立していないという問題も残されている。このため、クリーンな代替エネルギーとして自然エネルギーに期待が寄せられており、d地熱や風力、潮力、太陽熱を利用した発電については、実用化も進んできている。

問 1 文中の空欄(a)～(e)に入る適切な語を、次の語群の中から 1 つずつ選びなさい。

[語 群]

- (a) (ア) 福井県美浜町 (イ) 茨城県東海村 (ウ) 新潟県柏崎市 (エ) 青森県六ヶ所村
- (b) (ア) ボーキサイト (イ) ウラン (ウ) クロム (エ) ニッケル
- (c) (ア) ハイブリッド (イ) ゼロ・エミッション (ウ) 循環型社会形成推進基本  
(エ) プルサーマル
- (d) (ア) 酸性雨 (イ) 砂漠化 (ウ) 赤潮 (エ) オゾン層の破壊
- (e) (ア) 一酸化炭素 (イ) 水素 (ウ) 二酸化炭素 (エ) ヘリウム

問 2 文中の下線部 A について、石炭や石油のような、地質時代に地下に埋もれた動植物が、地圧と地熱の作用を受けて生じた燃料を何というか、漢字 2 字で書きなさい。

問 3 文中の下線部 B について、1970 年代にこのような事態が起こった原因に関する適切な説明を、下の文(ア)～(エ)の中から 1 つ選びなさい。

- (ア) 油田での原油採掘に携わる労働者が大規模なストライキを起こし、原油が大幅に減産された。
- (イ) 石油メジャーが協定を結び、原油価格を大幅に値上げした。
- (ウ) 既存の油田で原油が枯渇し、新しい油田が発見されるまでに一時的に生産が凍結され、その間に原油価格が高騰した。
- (エ) 産油国によって結成された機関が中心となって、原油供給の削減や価格の引き上げを図った。

問 4 文中の下線部 C について、1986 年に大規模な事故が起きた旧ソ連内の原子力発電所はどれか、次の語群の中から 1 つ選びなさい。

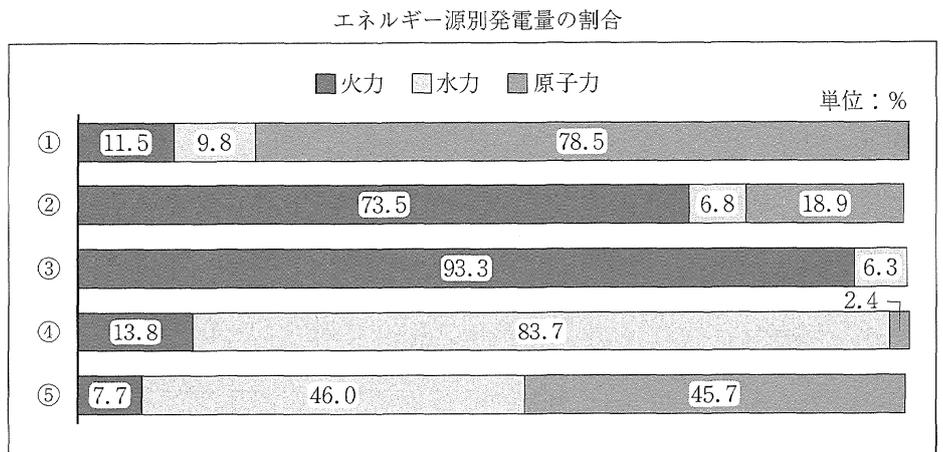
- (ア) スリーマイル島原子力発電所 (イ) チェルノブイリ原子力発電所
- (ウ) ブラーツク原子力発電所 (エ) チュメニ原子力発電所

問 5 文中の下線部 D について、ニュージーランド北島にある出力の大きい地熱発電所として知られる発電所はどれか、次の語群の中から 1 つ選びなさい。

- (ア) ラルデレロ発電所 (イ) ランス発電所 (ウ) マウントクック発電所
- (エ) ワイラケイ発電所

問 6 次の棒グラフは、2005 年における発電量のエネルギー源別割合を国別に示したものである。①～⑤に該当する国名を、下の語群の中から 1 つずつ選びなさい。

- (ア) スウェーデン
- (イ) フランス
- (ウ) ノルウェー
- (エ) カナダ
- (オ) オーストラリア
- (カ) アメリカ
- (キ) 日本
- (ク) ブラジル



(Energy Statistics Yearbook による)

問 7 原子力発電に用いられる核燃料は、兵器としての利用も可能である。そのため、19

57 年に原子力の平和利用の促進と軍事目的への転用の防止を目的とした国際機関が設置され、2009 年現在 140 を越える国が加盟している。この機関を表す略語を、次の語群の中から 1 つ選びなさい。

- (ア) UNEP (イ) EURATOM (ウ) IEA (エ) IAEA

**【15】 2009 大東文化大学 2/7, 一般**

エネルギー資源は私たちの日常生活に必要不可欠なものである。とくに 20 世紀の工業化に利用されたのは、おもに①石炭、②石油(原油)、③天然ガスなどの化石燃料であった。ただし、化石燃料とひとくちに言っても、熱効率や輸送効率の違い、環境への負荷の違いなどにより、④利用されるエネルギー資源の割合も変化してきた。

1970 年代以降は、⑤石油(原油)の価格変動や安定供給、化石燃料全体の埋蔵量の限界などの問題と、大気汚染や⑥地球温暖化などの環境問題が重要な課題となってきた。このため、原子力の利用や⑦潮力・波力・地熱・太陽熱など化石燃料に代替するエネルギーの開発と実用化が進められてきた。

〔I〕 下線部①の現在の生産、消費、貿易などについて述べた次の文ア～エのなかから、正しい答えを一つ選びなさい(埋蔵量は 2006 年時点、それ以外は 2004 年時点)。

- ア 産出量は、中国、オーストラリア、インドの順に多い。
- イ 日本への石炭の最大の輸出国は中国であり、EU 諸国へは南アフリカとロシアなどから輸出される。
- ウ 韓国は急速な重工業化にともない、現在、世界最大の石炭輸入国になっている。
- エ 埋蔵量(確認可採埋蔵量)が最も多いのはアメリカである。

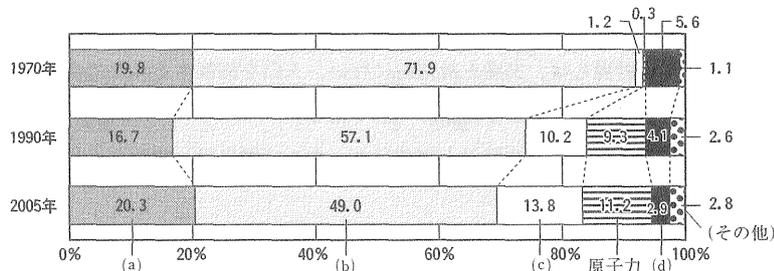
〔II〕 下線部②の現在の生産、消費、貿易などについて述べた次の文ア～エのなかから、正しい答えを一つ選びなさい(いずれも 2004 年時点)。

- ア 産出量は、サウジアラビア、ロシア、アメリカの順に多い。
- イ 輸出量では、サウジアラビア、ロシア、インドネシアが上位 3 か国である。
- ウ 輸入量で見ると、日本が最も多く、中国がそれに続く。
- エ 消費量では、人口の多い中国とインドが上位 2 か国である。

〔III〕 下線部③の現在の生産、消費、貿易などについて述べた次の文ア～エのなかから、正しい答えを一つ選びなさい(産出と消費は 2004 年時点、輸出入は 2006 年時点)。

- ア 最大の産出国はロシアで、アメリカがそれに続く。この両国で世界全体の 4 割程度を占める。
- イ 従来は長距離の輸送が困難であったが、1990 年代に天然ガスの冷却液化技術が確立し、ドイツや日本など産出国以外でも積極的に利用するようになっている。
- ウ 消費量で見ると、アメリカ、日本、イギリスの順に多い。
- エ 日本は液化天然ガス(LNG)をおもにサウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタールなど中東諸国から輸入している。

〔IV〕 次の帯グラフは、下線部④に関して、日本のエネルギー供給構成の変化を表したものである。帯グラフのなかの(a)と(c)は何か。正しい答えの組み合わせを次のア～エのなかから一つ選びなさい。



(出所)『日本国勢図会2008/09』

- ア (a)は石油、(c)は天然ガス    イ (a)は石油、(c)は水力
- ウ (a)は石炭、(c)は天然ガス    エ (a)は石炭、(c)は水力

〔V〕 下線部⑤に関して述べた次の文ア～エのなかから、正しい答えを一つ選びなさい。

- ア 1973 年の第 4 次中東戦争をきっかけに、アラブ産油国がエジプトの協力国に対し石油の輸出制限

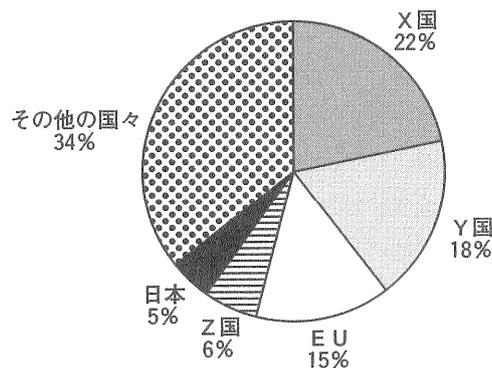
- を実施したことや大幅な原油価格の引き上げによって、第1次石油危機(オイルショック)が起こった。
- イ イラン革命にともなう1978年12月以降の石油需給ひっ迫と原油価格上昇により第2次石油危機が発生し、原油価格が1バーレル当たり2~3ドルから10~12ドルまで急上昇した。
- ウ 1980年代になると、先進国では石油の備蓄や省エネルギー、エネルギー源の多様化が試みられ、また石油輸出国機構(OPEC)加盟国以外の産油量が増えたこともあり、原油価格はしだいに下がりはじめた。
- エ イラク戦争(2003年)前後の政治不安を契機に原油価格は再び上昇を始めたが、新興国市場の需要拡大は石炭の増産によって満たされ、その結果、2005年前後から2008年半ばにかけて原油価格は大幅に下落した。

[VI] 下線部⑥に関して述べた次の文ア~エのなかから、適当ではないものを一つ選びなさい。

- ア 地表から宇宙空間へ放射される熱を吸収し、再び地表へ放射することで地表近くの気温を一定に保つ効果をもつガスを温室効果ガスといい、メタンガスやフロンガスもその一つである。
- イ 森林破壊や砂漠化による植生の減退も、温室効果ガスを増大させる一因になっている。
- ウ 原子力発電所事故にともなう大気放射能汚染は、地球温暖化の重要な原因として注目されている。
- エ 台風の発生頻度の増加と大型化も、地球温暖化が関係していると考えられる現象である。

[VII] 下線部⑥に関して、二酸化炭素は主要な温室効果ガスの一つであるが、世界の二酸化炭素の排出割合を示す次の円グラフのうち、Y国とZ国はどこか。次のア~エのなかから、正しい答えの組み合わせを一つ選びなさい。

- ア Y国はアメリカ、Z国はロシア
- イ Y国はアメリカ、Z国は韓国
- ウ Y国は中国、Z国はロシア
- エ Y国は中国、Z国は韓国



(出所)『世界国勢図会2007/08』

[VIII] 下線部⑦に関して述べた次の文ア~エのなかから、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 太陽光・潮力・風力・地熱など自然の力を活用した発電が模索されているが、いずれにも小規模発電、立地上の制約、不安定な供給などの問題点が残っている。
- イ 太陽光・潮力・風力・地熱など自然の力を利用した発電は二酸化炭素の排出をゼロに抑えることができるため、地球温暖化問題の改善に貢献できる。
- ウ 天然ガスで自家発電して、その際に得られる熱を給湯や冷暖房にも有効利用するシステムをコジェネレーションシステムという。
- エ オランダ、デンマークなどの風力、ケニア、ニカラグアなどの地熱、フランスの潮力、日本などが取り組んでいる太陽光や新しいバイオマス利用の発電など、自然再生エネルギーの研究と利用が本格化している。

## 【16】 2011 中央大学 2/17, 一般Ⅱ 商

エネルギー資源にかんする次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

- A 国のエネルギー源は多様である。それは、各国の資源の埋蔵量や産業の成り立ちから歴史的に形づくられてきたものだからである。また、エネルギーの消費量と消費方法は地球環境問題にも多大な影響を与えている。一般的に言えば、工業国や経済成長の過程にある国ではエネルギー消費量が多いと言えよう。

ところで、エネルギーは自然界に存在するままの形状で得られる一次エネルギーと、それらを加工して得られる二次エネルギーとに分けることができる。こんにち、世界の一次エネルギーのおよそ 8 割が化石燃料に依存しているため、その枯渇が懸念されている。また、化石燃料を消費する(燃やす)過程で排出される二酸化炭素が地球温暖化の原因として批判されている。

B わが国の 2006 年における一次エネルギーの供給源(以下の数値は『世界国勢図会 2009/10』による)をみると、石油 45.6%、(a) {①天然ガス ②原子力 ③石炭 ④水力 ⑤風力}21.3%となっており、この 2 つで全体の 6 割以上を占めている。アメリカ合衆国の場合も、日本に比べ、石油の比率がやや低いものの、一次エネルギー供給源についてはほぼ同様の傾向と言える。しかし、同じ北米大陸でも、カナダは石油と(b) {①天然ガス ②原子力 ③石炭 ④水力 ⑤風力}の割合が高い傾向にある。

一方、2006 年におけるヨーロッパ各国の一次エネルギー供給源はどのようになっているのであろうか。イギリスは、石油と(c) {①天然ガス ②原子力 ③石炭 ④水力 ⑤風力}で 7 割をまかなっている。また、フランスが一番依存している一次エネルギー源は、(d) {①天然ガス ②原子力 ③石炭 ④水力 ⑤風力}であり、石油への依存は 3 割程度にとどまっている。

また、2006 年における BRICs(新興市場国)の一次エネルギー供給源については、どのようになっているのだろうか。ロシアは一次エネルギーの 5 割以上を(e) {①天然ガス ②原子力 ③石炭 ④水力 ⑤風力}でまかなっており、石油への依存は 2 割程度にすぎない。一方、中国は 6 割以上を(f) {①天然ガス ②原子力 ③石炭 ④水力 ⑤風力}に依存しており、ロシアと同様に石油依存度はそれほど大きいとは言えない。

C 資源の乏しいわが国は、エネルギー消費大国でもある。2006 年におけるわが国の一次エネルギー自給率は(g) {①52% ②38% ③19% ④6% ⑤2%}にすぎない。わが国とは対照的に、エネルギー資源の埋蔵量の多い国の第 1 位から第 5 位までを示したものが第 1 表である。

第 1 表 主要なエネルギー資源の埋蔵国

エネルギー資源埋蔵国	石炭 (2008 年末の世界全体の埋蔵量4,113億トン)	原油 (2008 年末の世界全体の埋蔵量2,134 億キロリットル※)	ウラン (2006 年末の世界全体の埋蔵量333.83万トン)
第 1 位	(ア)	サウジアラビア	(イ)
第 2 位	中国	(ウ)	カザフスタン
第 3 位	インド	イラン	(エ)
第 4 位	ロシア	イラク	(オ)
第 5 位	(カ)	クウェート	南アフリカ共和国

※原油を含んだ砂であるオイルサンドを含む

出所：『世界国勢図会 2009/10 年版』矢野恒太記念会

D 化石燃料の枯渇が深刻化している中で、非枯渇性(再生可能)エネルギーに注目が集まっている。もともと、人類は自然の非枯渇性エネルギーを活用してきた歴史を有する。こんにち、こうした非枯渇性エネルギーを有効に活用している地域として北欧諸国が知られている。以下の第 2 表は、北欧 4 カ国のエネルギー資源の利用率である。

第 2 表 2006 年における北欧4カ国のエネルギー資源

	発電量	( ③ )	火力	原子力	( ④ )
フィンランド	823 億 kwh	14.0%	58.0%	27.8%	0.2%
( ① )	1,217 億 kwh	98.4%	1.0%	0.0%	0.4%
( ② )	1,433 億 kwh	43.1%	9.5%	46.7%	0.7%
デンマーク	457 億 kwh	0.1%	86.5%	0.0%	13.4%

出所：『データブック オブ・ザ・ワールド』二宮書店（2010年度版）

問 1 問題文 B～C の(a)～(g)の選択肢の中からもっとも正しいと思うものを 1 つだけ選び、解答欄に記入しなさい。

問 2 問題文 C の「第 1 表 主要なエネルギー資源の埋蔵国」の㉑～㉔にもっともよくあてはまる国名を解答欄に記入しなさい。

問 3 問題文 D の「第 2 表 2006 年における北欧 4 カ国のエネルギー資源」について、国名および非枯渇性エネルギーの組み合わせとしてもっとも正しいと思われるものを 1 つだけ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) {① スウェーデン ② ノルウェー ③ 風力 ④ 水力}  
 (イ) {① スウェーデン ② ノルウェー ③ 水力 ④ 地熱}  
 (ウ) {① ノルウェー ② スウェーデン ③ 水力 ④ 風力}  
 (エ) {① ノルウェー ② スウェーデン ③ 風力 ④ 太陽熱}

問 4 問題文 A の下線部について、二酸化炭素を削減する自動車産業の取り組みについて 20 字以内で述べなさい。句読点も字数に含める。

### 【17】 2011 福岡大学 2/5, 前期日程 経済 商 2 部 人文

次の文[1]～[5]を読み、〔問 I〕～〔問 VI〕に答えなさい。解答は解答用紙の該当欄に正しく記入しなさい。

[1] イギリスでは 14 世紀以降、各地の農村で毛織物工業が発達した。ペニン山脈の東西の山麓にそれぞれ位置して、水力に恵まれた(a)ヨークシャー地方やランカシャー地方もその一例である。19 世紀には、石炭利用と結びついて、ランカシャー地方では新興の綿織物工業が発達するようになり、は産業革命時代に新興の工業都市として発展した。

[2] (b)石油化学工業は各種の化学製品を生産する工業であり、原料の供給から製品の生産まで各種工場が結合してコンビナートが形成される。石油を輸入に依存する日本では、帯状に連なる一大工業地帯であるに複数のコンビナートが建設された。

[3] イギリスに始まる産業革命は西ヨーロッパを世界の工業の中心とした。とくに、イギリスのミッドランド地方、ドイツのルール地方、フランスの地方など、鉄鉱や石炭に恵まれた地域で重工業が発展した。現在の西ヨーロッパの工業の中心は、オランダの(c)ユーロポータや、パリ・ロンドンなど大都市近郊の機械工業やハイテク工業地域に移っている。

[4] ブラジル・ロシア・インド・中国の 4 か国は広大な国土をもち、世界人口の約 41.8%(2007 年)を占め、その動向は世界に大きな影響を及ぼす。これまでは国内資源を基礎に(d)原料立地型の工業地域が主体であったが、現在では、サンパウロ・モスクワ・デリー・ペキン(北京)などの大都市圏の工業地域が拡大している。一方、新しい工業地域も出現し、たとえば、インド南部に位置し、ソフトウェアの生産拠点であるや自動車工業の発達したチェンナイなどの大都市はその例である。

[5] ヨーロッパでは伝統的な手工業が国際的な競争力を誇る産業となっている。たとえば、フランスやイタ

リアの皮革・服飾製品、スイスの **E**、<sup>e</sup>ドイツの刃物、イギリスやイタリアなどの陶磁器などが知られている。これらの伝統産業は職人の技術とブランドとしての知名度によって支えられている。

〔問Ⅰ〕 文中の **A**～**E** に最も適切な字句を〔解答 B 欄〕に記しなさい。

〔問Ⅱ〕 文中の下線部(a)に位置する毛織物工業都市を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ストーク (2) リーズ (3) ダーリントン (4) バーミンガム

〔問Ⅲ〕 文中の下線部(b)が立地する、イギリス中東部、北海に臨む工業都市を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ミドルズブラ (2) ベルファスト (3) エディンバラ (4) シェフィールド

〔問Ⅳ〕 文中の下線部(c)が建設されて広大な後背地を持つに至った港湾都市を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ハンブルク (2) マルセイユ (3) ブレーメルハーフェン (4) ロッテルダム

〔問Ⅴ〕 文中の下線部(d)と最も関係の深いものを下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 出版・印刷 (2) ビール醸造 (3) 陶磁器 (4) 電気機器

〔問Ⅵ〕 文中の下線部(e)について、刃物工業で有名な都市を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) イエナ (2) ライプツィヒ (3) ゴーリンゲン (4) ドレスデン

## 【18】2011 法政大学 2/8, A方式(I・II日程) 法 経営 文一昼

世界の資源とエネルギーに関するつぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

エネルギーは、石油、石炭などのような1次エネルギーと、電力のように1次エネルギーからつくられる2次エネルギーとに分けられる。世界の1次エネルギーの生産は、**A**、アメリカ、**B**、**C**、**D**、**E**の順で多い。この上位6カ国で世界の一次エネルギー生産の51%を占めている(2006年)。

1次エネルギーの消費量のなかで最も割合の高い石油は、偏在性の高い資源である。世界の埋蔵量のうち56%が中東地域に集中している(2006年)。このことから、原油輸入国の中東依存度は将来的に高まるとされる。今後、供給の増加が見込める産油国は、中東以外では**B**、カザフスタン、リビア、**E**であり、<sup>a</sup>中東地域では**F**である。

石油に次いで多いのは石炭である。石炭は、偏在性が小さく、供給の安定性が高い。オイルショック以降、石炭の消費は拡大しているものの、消費動向は地域や国によって異なる。ヨーロッパでは、鉄鋼業の低迷などを背景に石炭の消費は減少傾向にある。しかし、石炭を主要な燃料としている**A**や**D**の消費の伸びは著しい。今後も、石炭需要はアジアの途上国を中心に増えるであろう。生産は**G**などの生産国に集中すると予想されている。

天然ガスは、輸送技術の発達により、オイルショック以降、石油代替エネルギーとしてエネルギー消費量に占める割合が高くなってきた。ヨーロッパや北アメリカでは、主に気体のまま**あ**で輸送するのに対して、日本や韓国では、**い**船で輸入・消費している。しかし近年、ヨーロッパや北アメリカなどでも**い**船による輸入が増加しており、さらに**A**でも増加している。また、世界第1位の生産量と埋蔵量を有する**B**は、<sup>b</sup>これまでは**あ**でヨーロッパに輸出するのみであったが、2009年3月からは日本向けに**H**産の**い**船による輸出を開始した。

問1 以下の表1は各国の原油生産・埋蔵量、表2は各国の石炭産出・埋蔵量を示したものである(文中のA～Gと表中のA～Gは同じ国名である)。**A**～**G**の国名を、以下の表を参考にして解答欄に記せ。

表1 原油の生産量(単位：万 kL)と埋蔵量(単位：100 万 kL)

	2000 年	2007 年	埋蔵量 <sup>1)</sup>
B	36,707	57,048	9,540
C	46,339	47,589	42,009
イラン	21,367	23,098	21,648
E	11,810	15,194	28,317
アラブ首長国連邦	12,945	14,687	15,550
F	14,896	12,129	18,285

『世界国勢図会 2009/10』より作成

1) 2008 年末現在の確認埋蔵量。

表2 石炭の産出・埋蔵量(単位：100 万 t)

	2000 年	2005 年	埋蔵量 <sup>1)</sup>
A	998.0	2204.7	62,220
アメリカ合衆国	895.2	531.8	108,950
D	315.6	407.0	54,000
G	239.4	265.4	36,800
南アフリカ共和国	225.5	246.3	30,408
カザフスタン	69.8	86.6	28,170

『世界国勢図会 2009/10』より作成

1) 埋蔵量は技術的・経済的に採掘可能な埋蔵量。原資料は世界エネルギー会議 “Survey of Energy Resources 2009”。

問2 下線部 a にあるように、中東地域で今後、F 国の石油供給の増加が見込める理由は何か。解答欄に記せ。

(解答欄の枠内であれば字数は問わない。)

問3 文中の   に当てはまる語句を、解答欄に記せ。

問4 文中の  に当てはまる地名(島名・州名)を解答欄に記せ。

問5 下線部 b に関して、B 国は、2006 年 1 月と 2009 年 1 月にウクライナ向けのガス供給を停止し、EU に多大な影響を及ぼした。EU 諸国のなかで、このウクライナ経由の  を用いて、B 国から天然ガスの供給をもっとも多く受けている国を解答欄に記せ。

## 【19】2009 法政大学 2/8, A 方式(I・II 日程) 法 経営 文

つぎのレアメタル(希少金属)に関する文章を読み、以下の問いに答えよ。

レアメタルとは非鉄金属のうち、①産業や人びとの生活にきわめて重要であるが、地球上に埋蔵量が少なく特定の地域に偏在している金属のことで、およそ 30 種類があるという。ほとんどのレアメタルの産出がいくつかの国に限られていることが特徴である。

レアメタルはハイテク製品、エレクトロニクス製品、家電製品、自動車などの生産に不可欠なものである。2008 年 5 月、中国の②四川大地震は莫大な人的被害をもたらしただけでなく、レアメタルの供給が停止されて価格が高騰するなど中国のみならず全世界に深刻な影響をもたらした。

レアメタルは他の金属資源や化石燃料などに比してはるかに③地域的に偏在している。またレアメタルの単体を取り出す技術が簡単ではなくコストも高いので、④価格と需要のバランスがたえず不安定である。日本の

産業界はレアメタルを安定して確保することに努めているが、各国の政策、経済情勢、産出国の政情不安など問題点も多い。

ところが、家電製品、パソコン、携帯電話などは使用後にゴミとして大量に廃棄されている。こうした廃棄物にはレアメタルなど有用な資源が含まれており、この希少資源を回収して再利用することが必要である。

「都市鉱山」という概念は、<sup>(5)</sup>都市の廃棄物を鉱山と見立てて、その有効利用を図る考え方から生まれたものである。この観点から見ると、日本は世界有数の資源大国ということになる。日本の都市鉱山には理論上、金が 6,800 トン、銀は 60,000 トン存在する。これはそれぞれ世界の埋蔵量の約 16%、22%にあたる。同じ観点から錫は 11%、インジウムは 61%になるという(物質・材料研究機構、2008 年)。このように日本の都市鉱山は世界有数の資源産出国に匹敵することになる。

携帯電話に含まれているレアメタルも有力な資源であるが、<sup>(6)</sup>回収率は出荷台数の約 12%(2006 年度)にとどまり、かなりの部分が産業廃棄物として中国などに流出している。

問 1 つぎの図は代表的なレアメタルの産出高(2005 年)を示したものである。図中の A~D の国名を答えよ。

ただし、国名は正式名称でなくてもよい。

主なレアメタルの産出高(2005年)

鉄鉱石(参考)	ブラジル	C	A	インド	B	その他		
アンチモン	A					ボリビア	D	その他
クロム	D		カザフスタン	インド	その他			
コバルト	コンゴ民主共和国		ザンビア	C	その他			
タンガステン	A					オーストリア	B	その他
ニッケル	B	カナダ	C	その他				
バナジウム	D		A		B			その他
マンガン	D	ブラジル	C	その他				
モリブデン	アメリカ	チリ	A		その他			

(日本国勢図会・2007/08による)

問 2 文中の下線部(1)~(6)に関して、以下の 1~6 の各問いに答えよ。

1 下線部(1)にレアメタルは「産業や人びとの生活にきわめて重要である」とある。それは鉄や銅、アルミニウムなどと比べて、レアメタルのどのような性質から生じているのかを 30 字以内(句読点も 1 字に数える)で説明せよ。

2 下線部(2)の四川大地震と関連して、四川盆地についての以下の文中の a~e の( )内からそれぞれ正しいものを一つ選び、解答欄に記せ。

四川盆地は中国(中華人民共和国)の国土の中では、a(西北部、西部、中南部、南東部)に位置し、b(黄河、長江、珠江、黒竜江、金沙江)が盆地の南縁を貫流している。四川省の省都は c(成都、西安、広州、重慶、武漢、蘭州)であるけれども、人口規模では同省の都市であった d(成都、西安、広州、重慶、武漢、蘭州)のほうがはるかに大きい。

四川大地震の震源となった四川省には多くの少数民族が居住している。その代表的な民族は、e(ミャオ族、回族、ウイグル族、チベット族、壮族)で、西隣りの民族自治区との関係が深い。

3 下線部(3)と関連して、問 1 の図中のコバルトについて、以下の文中の空欄に正しい語句を入れよ。ただし、同一記号には同一語句が入る。

コバルトの主な産出国はアフリカ諸国で、コンゴ民主共和国とザンビアに多い。コンゴは19世紀後半から [a] の植民地であったが、1960年に独立した。その後長く内戦が続き周辺国を巻き込んで混乱が続いた。ザンビアはその南に続く内陸国で、1964年に [b] から独立した。両国は [c]、コバルト、マンガンの産資源に恵まれており、両国の接する地方には [d] と呼ばれる [c] の大鉱脈がある。20世紀初頭に海岸部と結ぶ [e] 鉄道が敷設され、この地の産資源がヨーロッパに輸出されてその工業化を支えた。

4 下線部(4)の「価格と需要のバランス」に関連する説明としてもっとも正しいものを、以下のa～eの中から一つ選び、解答欄に記号で答えよ。

- a レア金属の価格が上昇すると、それにもなって需要も高くなる。
- b レア金属の需要を大きく左右する要素として、新たな代替品の出現がある。
- c 価格の変動と需要の変化には相関関係は認められない。
- d 価格と需要のバランスが崩れると、産出国の経済は衰退する。
- e 価格と需要のバランスの崩壊は主に産出国の内戦や政情不安によるところが大きい。

5 下線部(5)に関連して、都市の廃棄物を鉱山に見立てたとき、両者の共通点と相違点をそれぞれ20字以内で説明せよ(句読点も1字に数える)。

6 下線部(6)の携帯電話の回収率が低い理由としてもっとも適切なものを以下のa～eの中から一つ選び、解答欄に記号で答えよ。

- a 使用者が個人情報の保護や思い出として保管したがるから
- b 携帯電話から金やレア金属を回収できないから
- c メーカーや販売店が回収に不熱心だから
- d 携帯電話を回収しても中国などに流出してしまうから
- e 携帯電話はレア金属の使用量が少ないから

## 【20】2009 法政大学 2/9, A方式(I日程) 経済 社会

つぎの世界諸地域の工業に関する各文を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて記せ。

企業は生産活動を行う際、最小の投資で、最大限の利益・効果を得られる場所に生産拠点(工場)を立地させる。ドイツの地理学者のウェーバーは、生産費に大きな影響を持つと考えられる [①] と [②] の立地因子を考慮して、工業は生産費がもっとも安い場所に立地するという工業立地論を展開した。

工業立地は、いくつかのタイプに分類できるが、ここでは、 [③] 指向型工業、 [④] 指向型工業、 [⑤] 指向型工業、といった3つのタイプの工業の特徴をみる。まず、 [ (i) ]、木材・パルプ工業、石油化学工業などの工業は、製品にくらべて重い原料を使って生産する工業のタイプで、 [③] 指向型工業と分類される。また、 [ (ii) ]、印刷・出版業などの工業は、製品の重量が大きく、流行や情報に影響を受ける工業のタイプで、 [④] 指向型工業と分類される。 [ (iii) ]、電気機械工業などの加工組立型工業は、 [⑤] が大量に得やすい場所に立地するため、 [⑤] 指向型に分類される。

このような工業立地によって、世界諸地域には、さまざまな工業の集積地域が存在する。ヨーロッパでは、重工業三角地帯、 [ (f) ]、 [ (i) ] と呼ばれる工業地域が発達してきた。重工業三角地帯とは、 [ (f) ] 北部・ルール地方・ザール地方・ロレーヌ地方を結ぶ重化学工業地域を指すが、近年はその活力が低下し、ロンドン・パリをはじめ、 [ (1) ]、 [ (2) ] などのライン川中流や南ドイツの地域に工業の中心が移っている。ライン川の支流ネッカー川の沿岸に位置する [ (1) ] では自動車、光学機械、食品工業が発達しており、同国の南東部に立地する [ (2) ] では伝統的なビール醸造をはじめ、電気機械、精密機械、光学機械などの工業が発達している。 [ (f) ] とは、 [ (e) ] 南東部から、ベネルクス3国、ドイツ南部、 [ (f) ] 中央部、イタリア北部にかけて各種工業が集積している地帯を指すが、EU統合後、地域内の結びつきが強まり、EU経済の中心地域と

なっている。また、(4)とは、(3)・ヴェネツィア(ベニス)・ボローニャ・(4)など、イタリアの北中部地域の工業地帯を指す。そこでは、繊維・皮革・宝飾・家具などの工業が盛んで、職人技術と先端技術を結びつけた生産者間のネットワークが密接で、市場の動向などに柔軟に対応することで、近年注目を浴びている。

一方、アメリカ合衆国では、(A)、(B)、(C)などの様々な地理的スケールの工業地域がみられる。(A)とは、アメリカ合衆国の南部のカリフォルニア州からアリゾナ州を経て、メキシコ湾岸に至る北緯(D)度以南の地域を指すが、そこでは、広い土地が得られやすく、地価・労働力が相対的に安いため、1970年代以降、先端技術産業を中心に、石油化学工業、電子工業などの工場が多く立地している。(B)とは、サンフランシスコ南部、サンノゼ付近に、名門大学の人材、広い工業用地、政府の研究開発などにより、集積回路などを生産する電子工業やIT関連企業が集積する地域である。一方、経済・政治・工業の中心地である(E)では、近年、都市内部に再開発事業が進められ、ソーホー地区付近に、マルチメディア産業が集積している(C)と呼ばれる産業集積地区が注目されている。

問1 工業立地について説明した文中の空欄(1)～(5)にもっとも適する用語を記入せよ。また空欄(i)～(iii)はそれぞれに該当する工業名を、つぎの語群の中から選び、その記号を解答欄に記せ。ただし、同じ数字の空欄には同じ用語が入るものとする。

- a. 鉄鋼業 b. 清涼飲料水・ビール醸造工業 c. 自動車工業

問2 ヨーロッパの工業地域について説明した文中の空欄(ア)～(エ)にもっとも適する用語や国名を記入せよ。また空欄(1)～(4)にはそれぞれに該当する都市名をつぎの語群の中から選び、その記号を解答欄に記せ。ただし、同じ記号、数字の空欄には同じ用語、国名あるいは都市名が入るものとする。なお、国名は正式名称でなくてもよい。

- a. イギリス b. イタリア c. スペイン d. フランス e. ポルトガル f. ノルウェー  
g. ロレーヌ h. シュツットガルト i. ミュンヘン j. トリノ k. フィレンツェ  
l. ローマ m. タラント n. クロトネ o. パレルモ

問3 アメリカ合衆国の工業地域について説明した文中の空欄(A)～(E)にもっとも適する用語・数値や都市名を記入せよ。ただし、同じ記号の空欄には同じ用語・数値・都市名が入るものとする。

**[21] 2011 明治大学 2/16, 一般 商**

問1 次の図1は、いくつかのエネルギー資源の主な産出地の分布を示したものであり、図1中のア～ウは、ウラン、石炭、天然ガスのいずれかである。記号ア～ウと資源名との正しい組み合わせを、下のA～Fからひとつ選び、記号をマークしなさい。



図1

問2 次の表1は、石炭、原油、天然ガスの産出

量の上位6カ国を示しており、表1中のカ～クは、アメリカ合衆国、中国、ロシアのいずれかである。該当する国名の正しい組み合わせを、下のA～Fからひとつ選び、記号をマークしなさい。

	ア	イ	ウ
A	ウラン	石炭	天然ガス
B	ウラン	天然ガス	石炭
C	石炭	ウラン	天然ガス
D	石炭	天然ガス	ウラン
E	天然ガス	ウラン	石炭
F	天然ガス	石炭	ウラン

表 1

	石 炭	原 油	天然ガス
1位	(カ)	サウジアラビア	(ク)
2位	(キ)	(ク)	(キ)
3位	インド	(キ)	カナダ
4位	オーストラリア	イラン	イラン
5位	南アフリカ	(カ)	アルジェリア
6位	(ク)	メキシコ	ノルウェー

資料：Energy Statistics 2005

	カ	キ	ク
A	アメリカ合衆国	中国	ロシア
B	アメリカ合衆国	ロシア	中国
C	中国	アメリカ合衆国	ロシア
D	中国	ロシア	アメリカ合衆国
E	ロシア	アメリカ合衆国	中国
F	ロシア	中国	アメリカ合衆国

問 3 次の図 2 は、いくつかの鉱産資源の主な産出地の分布を示したものであり、図 2 中のサ～スは、鉄鉱石、銅、ボーキサイトのいずれかである。記号サ～スと資源名との正しい組み合わせを、下の A～F からひとつ選び、記号をマークしなさい。

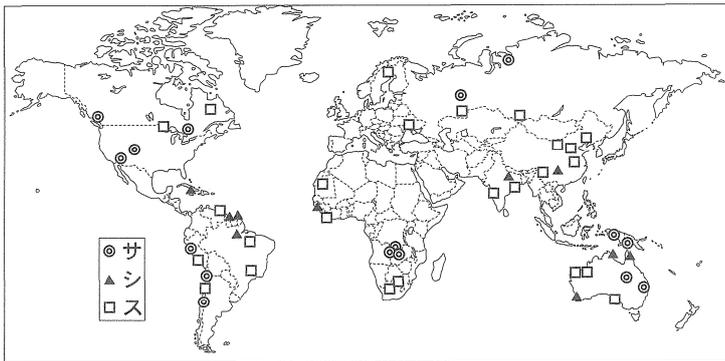


図 2

資料：Diercke Weltatlas ほか

	サ	シ	ス
A	鉄鉱石	銅	ボーキサイト
B	鉄鉱石	ボーキサイト	銅
C	銅	鉄鉱石	ボーキサイト
D	銅	ボーキサイト	鉄鉱石
E	ボーキサイト	鉄鉱石	銅
F	ボーキサイト	銅	鉄鉱石

問 4 次の図 3 は、金、銀、銅の地域別産出量の割合を示したものであり、図 3 中のタ～ツはアフリカ、オセアニア、南アメリカのいずれかである。タ～ツと地域名との正しい組み合わせを下の A～F からひとつ選び、記号をマークしなさい。

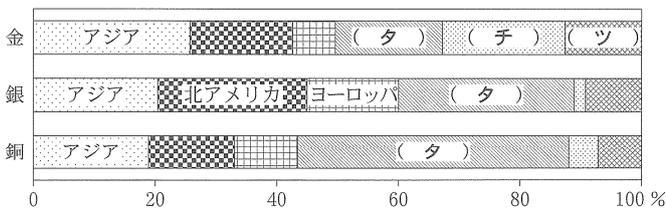


図 3

資料：「データブック・オブ・ザ・ワールド」。数値は 2006 年。

	タ	チ	ツ
A	アフリカ	オセアニア	南アメリカ
B	アフリカ	南アメリカ	オセアニア
C	オセアニア	アフリカ	南アメリカ
D	オセアニア	南アメリカ	アフリカ
E	南アメリカ	アフリカ	オセアニア
F	南アメリカ	オセアニア	アフリカ

問 5 次の表 2 は、鉄鉱石の輸入国・地域と仕入先国との関係を示しており、表 2 中のナ～ヌは、アメリカ合衆国、台湾、フランスのいずれかである。ナ～ヌと国・地域名の正しい組み合わせを表 2 の下の A～F からひとつ選び、記号をマークしなさい。

表 2 (単位：千t)

	(ナ)	(ニ)	(ヌ)
仕入先国			
オーストラリア	10936	1694	—
ブラジル	4012	11720	2623
カナダ	493	1848	5899
モーリタニア	—	2562	—
ほか	—	—	725

資料：鉄鋼統計要覧 2009

	ナ	ニ	ヌ
A	アメリカ合衆国	フランス	台湾
B	アメリカ合衆国	台湾	フランス
C	フランス	アメリカ合衆国	台湾
D	フランス	台湾	アメリカ合衆国
E	台湾	アメリカ合衆国	フランス
F	台湾	フランス	アメリカ合衆国

- 問6 アルミニウムに関する次の説明文A～Dのうち、誤っているものをひとつ選び、記号をマークしなさい。
- A 原料のおもな産出国は、オーストラリアやギニア、中国やブラジルである。原料の生成には高温多湿な気候が関係するため、鉱山は熱帯に多く分布する。
- B アルミニウムの精錬には、多くの電力を必要とする。ブラジルやノルウェー、カナダのような水力発電が大きな電力供給源となっている国で生産量が多い傾向がある。
- C アメリカ合衆国では、原料産出量に比べて多くのアルミニウムが生産されている。その理由のひとつは、電力料金が安価なことである。
- D 世界最大のアルミニウム生産国は中国である。消費量が生産量を上回っており、輸入量も世界最大である。
- 問7 鉱産資源とその産地に関する次の説明文A～Dのうち、誤っているものをひとつ選び、記号をマークしなさい。
- A クロム鉱は、南アフリカやカザフスタン、インドが主要な産地であり、これらの国が総産出量の8割近くを占めている。
- B コバルト鉱は、コンゴ民主共和国やザンビア、オーストラリア、カナダなどが主要な産地であり、これらの国が総産出量の過半数を占めている。
- C タングステン鉱は、中国が主要な産地であり、1国で世界の総産出量の約5割を占めている。
- D ニッケル鉱は、ロシアやオーストラリア、カナダが主要な産地であり、総産出量の約5割を占めている。
- 問8 資源をめぐる国際組織に関する次の説明文A～Dのうち、正しいものをひとつ選び、記号をマークしなさい。
- A AIOECは、1975年に輸入国の低価格の押し付けに対抗して結成された鉄鉱石輸出国の組織である。オーストラリアやブラジルなどの11カ国が加盟している。
- B IBAは、1974年に発足したボーキサイトの産出国の連合組織である。インド、インドネシア、ガーナ、ギニアなどの11カ国が加盟していたが1994年に解散した。
- C OAPECは、1968年に設立された、原油の共同開発事業などを行うアラブの産油国の組織である。イランやアラブ首長国連邦などの11カ国が加盟している。
- D OPECは、1960年に国際石油資本の石油価格引き下げに産油国が対抗して結成された組織である。シリアやエジプトなどの11カ国が加盟している。

## 【22】2010 明治大学 2/10, 一般 経営

工業地域、産業集積に関する次の文章を読んで設問に答えよ。

工業の立地は、産業の特性に影響される。①鉄鋼、②石油精製は  近郊や  近郊に立地する 경우가多く、飲料・食品加工・印刷は  近郊に立地するが多かった。その結果、同業種の企業が特定地域に立地し、さらに関連するサプライヤーなども集まるようになり工業地域が形成されてきた。

また、工業の立地や工業地域の形成は、技術や交通の革新、人口動態に伴い変化する。近年では、 を活用することにより、同一企業内でも、研究、製品開発、生産、販売など③業務機能ごとに拠点を分散させることが可能となり、企業内国際分業化が進展した。さらに、先進企業では、生産に関しても、製品、部品ごとに工場を最適立地し、世界の各市場の実需に基づき、調達・生産・販売を地球規模で連動させるグローバル・サプライチェーン・マネジメントのネットワークを構築している。その結果、経営活動は世界レベルで分散化する傾向にある。

しかし、一方で注目すべき産業集積も存在する。たとえば、 の北東部では、1970年代以降中小企業

を中心とした産業集積が成長した。中世以来の伝統的な技術・技能をもった職人が多く、毛織物、染色、縫製、皮革、宝飾などの産地となっている。個々の企業、事業者は比較的小規模であるが、多品種少量の企画・開発・生産・販売を企業間ネットワークによる分業で進めている。重工業が盛んな北西部、経済的に遅れた南部との対比から、この地域は **F** の **E** と呼ばれている。

加えて、シリコンバレーに代表されるような研究開発機能が中核となりイノベーションを創出し、ベンチャー企業を輩出する地域も注目すべき産業集積のタイプである。**G** は 1960 年代初めには人口 10 万人に満たない町であり、しかも中心産業だった船舶用のタール産業、製紙産業が斜陽化していた。1960 年代半ばに地元大学の工学部と市、産業界が連携し、産業振興策に着手した。その結果、産官学連携による研究開発支援やベンチャー企業のインキュベーション(創業支援)を活発に行い、多くの IPO(新規株式公開)を実現した。その中には、現在では世界的な携帯電話端末メーカーに成長した企業もある。

問 1 **A** および **B**、**C** に最もよく当てはまる立地の条件・タイプを、①～⑤から選び、解答欄にマークせよ。**A** および **B** に当てはまるものを二つ選択し、**C** に当てはまるものを一つ選択しなさい。

●A, B に当てはまるものを二つ選択

- ① 原料燃料産地 ② 空港 ③ 港湾 ④ 市場 ⑤ 大学

●C に当てはまるものを一つ選択

- ① 原料燃料産地 ② 空港 ③ 港湾 ④ 市場 ⑤ 大学

問 2 下線部(a)「鉄鋼」、(b)「石油精製」の工業地域として、最もよく当てはまるものを、それぞれ次の①～④から一つ選び、解答欄にマークせよ。

鉄 鋼：

- ① シュツットガルト ② ヒューストン ③ バーミンガム ④ 広州

石油精製：

- ① シュツットガルト ② ヒューストン ③ バーミンガム ④ 広州

問 3 下線部(c)に関して、日本企業が「業務機能ごとに拠点を分散する」うえで、製品開発部門を海外の都市に置く場合があるが、その理由として最もよく当てはまるものを、次の①～④から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- ① 現地の販売状況に合わせて迅速に生産し、製品を市場供給するため  
② 現地の市場ニーズ等を把握し、現地に合わせた製品企画・設計を行うため  
③ 原材料・部品・製品の物流コストを低減させるため  
④ 受注から納品までのリードタイムを短縮させるため

問 4 **D** に当てはまる略語を、次の①～④から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- ① IC ② ICT ③ IDA ④ IEA

問 5 **E** に当てはまる国名を、次の①～④から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- ① イタリア ② ドイツ ③ ベルギー ④ フィンランド

問 6 **F** に当てはまる語句を記述欄に書きなさい。

問 7 **G** に当てはまる国名と都市名の組み合わせを、次の①～④から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- ① イタリアのタラント ② ドイツのエッセン  
③ ベルギーのブルッヘ ④ フィンランドのオウル

## 【23】2009 明治大学 2/10, 一般 経営

2004 年から 2008 年上期にかけて、(a)原油価格高騰が進んだ。2003 年の原油価格は、1 バレルあたり 25 ド  
地理A\_鉱工業 31/42

ルから 35 ドル程度であったが、2004 年以降上昇傾向に転じた。2006 年下期に一時下落したものの、2007 年から再び上昇し、2008 年年初に 1 バレル 100 ドルを越した。このような急激な原油価格高騰により、石油輸入依存度が高い国では、ガソリン等石油製品の値上げなど、さまざまな影響が、産業、社会で生じている。

原油価格高騰や地球環境問題への対応から、各国ではエネルギー政策の見直しが進められている。以下の表は 2004 年における各国の発電方式別の発電量を示したものである。火力発電を主力とする国が比較的多いが、地域特性やエネルギー政策によって発電方式の構成は異なっている。原子力発電は、1951 年にアメリカ合衆国で開始されたが、それ以降各国で開発が進められてきた。1979 年に あ 原子力発電所、1986 年に い 原子力発電所で事故が発生するなど安全面が不安視されている。しかし、近年、脱石油、地球温暖化などの観点から、原子力発電が多くの国で再評価されており、世界的に原子力発電所の建設が増加している。

このような原子力発電の政策動向を背景として、近年原子力関連産業では戦略的な取り組みが展開されている。たとえば、東芝は 2006 年に原子力発電プラント大手のウェスティングハウス社を買収した。さらに、2008 年には原子力発電の原料となるウランの確認埋蔵量が多く、近年の生産量の増加率も高い う の国営企業と原子力産業分野における協力推進に関する覚書を締結した。

表 世界各国の発電量の発電方式による内訳(2004 年)(単位：億 kWh)

	水 力	火 力	原 子 力	F	新エネ ルギー	G(内数)
アメリカ合衆国	2,979	30,329	8,133	155	149	143
A	3,535	17,956	505	—	—	—
日 本	1,031	6,898	2,824	34	13	13
ロ シ ア	1,778	6,090	1,447	4	0	0
イ ン ド	847	5,623	170	—	38	—
ド イ ツ	279	3,958	1,671	—	261	255
B	3,411	1,656	904	—	14	14
C	649	580	4,482	—	11	6
D	499	2,452	—	54	28	18
E	344	1,663	636	—	157	156

出所：『世界国勢図会 2007/08 年版』

問 1 下線(a)の「原油価格高騰」が近年進んだ理由に関して、ある国で発生した自然災害がその一因として指摘されている。

(1) その自然災害はどの国で発生したか、次の①～④から一つ選び、解答欄にマークせよ。

① クェート ② サウジアラビア ③ アメリカ合衆国 ④ ロシア

(2) どのような自然現象によって、どのような被害が原因となったかを説明せよ(句読点を入れて 30 字以内)。

問 2 下線(a)の「原油価格高騰」など原油価格の変動に関して、第一次オイルショックにおいては 1960 年に結成されたある組織の影響力が大きいといわれている。

(1) その組織の略称を、次の①～④から一つ選び解答欄にマークせよ。

① WTO ② IEA ③ OPEC ④ GATT

(2) その組織名称(日本語)を解答欄に書きなさい。